国分寺小　校長室だより

椎（しい）の木陰（こかげ）

～第２回学校運営協議会号～　令和元年７月１９日

第2回学校運営協議会の概要のお知らせ

１　**期日**　令和元年７月１０日（水）
２　**場所**　国分寺小学校　図書室
３　**学校運営協議会参加委員並びに地域学校協働活動推進委員**　　参加者数計１０名
４　**傍聴人**　１名
５　**開催内容**
（１）**あいさつ**　　学校運営協議会会長
（２）**協議**
①**学校経営についての協議**　※内容についてのみお知らせします。
Ⅰ　**学校経営状況についての説明（校長）**
Ⅱ　**質疑応答**
ア　Ａ委員：学校経営が現状学校経営計画に基づいて大変良く実施されていると感じた。
イ　Ｂ委員：読み聞かせで本校に来たときに階段が汚いと感じたが、水曜日の日課に清掃がなく、昼休みを拡大し長い時間子ども達が遊ぶ時間としているということで納得した。
※現在６年生の中に自主活動で清掃してくれている児童がいる。
ウ　Ｃ委員：校長の説明で多くの事に取り組んでいることが分かった。先生方の余裕も考えて学校経営を進めて欲しい。
エ　Ｄ委員：西小から入ってきた子ども達はどうなっているか。
学校応答：今のところ不登校傾向などを示す児童はなく、問題として取り上げられている事案も発生していない。うまく、なじめているものと考えている。しかし、スクールバスの運行には、ご意見をいただくこともあるので迅速・適切に対応できるように心掛けている。
オ　Ｅ委員：『時を守る』の項目で校長からうかがった下校時の先生方のポジショニング（子ども達の迅速で安全な下校時の集合を適切に促せる人員配置のこと）は重要であり、同感である。他の危機管理にも応用が利くこととなるものと考える。
Ｅ委員：教師の言葉遣いがあげられているがどういうことか。
学校応答：自戒も込めて先生方への指導をしている。声を荒げる指導はできる限り慎む方向での共通理解を進めているということである。ただし、危険な行為や授業妨害等をしているときには、その限りではない。今後は、小中一貫教育の中でも話題としていきたいと考えている。
Ｅ委員：子ども達と先生方とのコミュニケーションが大切にしていってほしい。
カ　Ｆ委員：小中一貫教育と共に幼小の連携を重点としていただきたい。特別支援教育の中の合理的な配慮を必要とする子に関しては、幼稚園でも増えてきていると感じるところである。視点を明確にして互いの職員の交流を進めていくことは、重要ではないかと考えている。国小は、園にも来ていただく機会があり、よく理解していただいているところではあるが、今後はより綿密に繋がりをもっていきたい。
学校応答：同意する。
キ　Ｇ委員：１年と６年生で防犯マップ学習会を行ったとのこと。作成した防犯マップを他学年の保護者に知らせる機会を考えて欲しい。それをもとにするなどして、学校の防犯マップを作成し配布するなどの取組に繋げて欲しい。
学校応答：防犯マップの作成配布については、今後の課題とさせていだく。また、防犯情報の入手手段として、警察からのメールなどがあることを情報として知らせるようにする。
ク　Ｈ委員：自分の命は自分で守るための自主避難訓練（本年度実施予定）に本年度は取り組むとのこと。大切なことと考える。ぜひ実施して、子ども達の防災に対しての意識を向上させて欲しい。
Ｈ委員：座る姿勢が悪いことが気になる。姿勢の保持についての指導をぜひして欲しい。
学校応答：立腰（りつよう）を実施していきたいと考えている。
※しっかりした姿勢を一分間程度保持する活動

コ　Ｉ委員：中学校では、先生方の熱心な指導を受けている。小学校の細やかな指導との差を中学生になると感じることとなるのではないか。しかし、その指導の差も成長としての糧とできるように、小中学校の先生方と保護者が同一歩調で、子ども達を支えていくために大切なことを前向きに考えていくことが必要である。

学校応答：小中一貫教育に関して、保護者の理解がより深められるように取り組む。

Ｉ委員：『礼を正す』のなかで『保護者の協力を』とあるが具体的にどのようなことか。

学校応答：挨拶の励行や感謝の言葉・規範意識の高い生活等を実践していくことに関して、学校便りなどを通して協力をお願いしていきたいと考えている。

Ｉ委員：生活態度の基本が家庭教育にあることを忘れずに、学校での取組と協働していきたい。

ケ　地域学校協働推進委員：（Ｆ委員の意見を受けて）
幼小中の連携が非常に大切だと感じる。特に、発達段階で何が・どこまで、できるようになっているのかを互いの職員が理解し、退行させないように導く教育が必要である。丁寧な繋ぎが求められている。また、小中一貫の日については、何を見取るための授業公開かを指示するのは管理職の仕事であることを認識し進めていただきたい。

②　学校支援地域本部開設について

Ｉ　支援地域本部組織（案）についての説明（事務局）

○　今年度、組織を固めを行い、次年度の教育計画に反映する。

○　今日は、部会（環境・安全・学習）ごとに組織作りのため話合いを進めていきたい。

Ⅱ　部会別協議

環境部会

ア　環境整備内容
○除草・清掃・補修
○国分寺跡除草（今年度より夏から秋にかけて年３回実施　※学校への補助金有り）

イ　協議内容
○保護者への周知、１回はは参加するなどの積極的な働きかけが必要。
○自治会も協力することができる。

安全部会

ア　安全見守り活動
○登下校の見守り　○立哨指導　○補導委員会との連携（守る家、守る会）

イ　協議内容
○組織の関連性が重要　○話合いを深めるために、別日に部会を開催

学習部会

ア　学習支援活動
○読み聞かせ　○ゲストティーチャー招聘
○学習支援（理科、音楽。図工、体育、書写、家庭等）

イ　協議内容
○学校が主導するのではない組織にしていきたい。（部会員が中心となる）
○学校は、日時と目的を部会員に知らせ人選を委託する方式でスタートしてはどうか。

③　学校評価の実施について

国分寺中学校区で学校評価の統一が検討されている。共通項目を中心として作成し、実態に合った調査項目を加える方向で作成を進めている。

（３）　事務連絡・その他

①次回の学校運営協議会について

アー　開催日時　令和元年１０月１７日(木)　１２：３０～（予定）

イ　開催内容
○給食試食　○教育活動参観

ウ　協議事項
○学校経営状況について　○学校支援地域本部について　○学校評価（案）の検討

6　授業参観　○各委員ごとに自由授業参観

次回の学校運営協議会にむけて

学校経営につきましては、現在の進捗状況の説明をもとに、多くのご意見をいただきました。最初は、予定よりかなり時間を延長して多くのご意見をいただきました。夏季休業中にいただいたご意見を共有し、休業空け以降の学校経営にいかせるよう努めて参ります。

また、学校支援地域本部の立ち上げには、まだまだ煮詰めていかなくてはいけない点が残されています。次回の学校運営協議会までに委員の皆様と適宜連絡を取り組織運用の骨子をまとめていきたいと考えています。